

## 大菩薩嶺（新入会員向け実践山行）

山行 2018年5月19日～20日

行程 19日：新松戸 6:28=塩山 9:15/9:30=大菩薩登山口 9:57/10:05=千石茶屋 10:37/10:45=福ちゃん  
荘 12:50/13:25=雷岩 14:20=大菩薩嶺 14:50=福ちゃん荘 15:30（テン泊）  
20日：福ちゃん荘 6:25=大菩薩峠 7:10/7:25=石丸峠 7:55=樫ノ尾山 9:00=大ダワ 10:10/10:20=  
小菅の湯 11:55/14:41=猿橋 15:33/15:51=新松戸 18:15

大菩薩テント泊は、1月の地図読み（物見山・日和田山）、3月の岩稜と鎖場歩き（古賀志山）に続く新入会員向け実践山行の第三弾として行われたものです。当初は小屋泊として企画されていたが、新人の参加者が2名であったためテント泊に変更されました。

初日の天気がやや心配でしたが、電車・バスを乗り継ぎ、大菩薩登山口に到着した午前10時にはすでに晴れており、翌日下山するまで晴天が続きました。

テント装備、調理器具、食材を分担し、一定のペースを保って昼過ぎには甲斐大和駅からの路線バスの終点、上日川峠に到着。人気の山だけに多くの乗用車、バスが停まっていました。福ちゃん荘のテント場にテントを張り、サブザックの軽装で雷岩、大菩薩嶺に登頂、南アルプスなど眺望を楽しみました。福ちゃん荘に下山後は生ビールでのどを潤したあと、テントの脇で夕食です。メニューは広谷SLが選んだ韓国風牛肉春雨炒め、ポテトサラダ、トマトとアボカドのサラダです。各自持参のアルコールを飲みながら腹一杯いただきました。次第に暗くなり星が見え始めると気温も下がってきたため、早めにシュラフに潜り込みました。

翌朝は5時前には起床し、まだ寒かったので朝食はテントの中でベトナムのフォーを作りましたが、満腹で身体も温まりました。外に出ると1匹の狐がすぐ近くにいました。人を怖がらない様子で食事の残りを狙っていたのかもしれませんが。私たちはテントを撤収し予定より早く出発、福ちゃん



大菩薩峠にて



私たちのテント



富士見平から眺めた富士山

荘から直ぐの富士見山荘からは昨日は雲で隠れていた富士山のきれいな姿を見ることができました。大菩薩峠では西に南アルプス、東に奥多摩の山々を眺めながら15分ほど休憩、この間に富士山は雲に覆われ見えなくなりました。下山路は石丸峠を経て牛の寝通りという尾根筋を下り小菅の湯を目指します。緩やかな下りが続き、途中にはミツバツツジが咲き乱れ快適な尾根道ですが、

多くの登山客でにぎわった雷岩、大菩薩峠と異なりほとんど人と会うこともなく昼前に小菅の湯（道の駅こすげ）に到着しました。大月行きのバスまで3時間弱あったため、ゆっくりと入浴、昼食を楽しんだのち帰路につきました。

総勢4名と少人数でしたが2日にわたる山歩きやテント泊の間にメンバーの経験談などを聞かせていただき、私にとっても為になるとともに楽しい山行でした。このような企画と準備をしていただいたリーダーの種蔵さん、サブリーダーの広谷さんに感謝申し上げます。



農鳥岳

間ノ岳

北岳

鳳凰山

仙丈ヶ岳

甲斐駒ヶ岳

鋸岳

南アルプスの峰々

---

3回の「新入会員向け実践山行」に今回参加の結城さんと私はすべて参加しました。

私の登山技術はこれまで全くの自己流だったので、山行部員による各回の技術指導は大いに役立つものでした。これを契機にさらに研鑽を積んでいくつもりです。

貴重な経験をさせていただいた山行部の皆様、特に各回のリーダーに感謝するとともに、このような新入会員向けの企画を今後も続けていただくことをお願いします。